



「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査」調査票

[大学院博士課程の在籍者用]

令和5年11月1日現在

文部科学省 科学技術・学術政策局

この調査票は、統計以外の目的に使用しませんので、ありのままを記入してください。

記入の際には「調査票の記入の手引き」を参照してください。

※凡例:

入力箇所

条件付入力箇所

0 回答者ID番号(「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査への御協力をお願い」に記載されている9桁の番号を記入してください)																														
1 在籍大学等の名称	(大学等の名称)		(研究科等の名称)		(専攻等の名称)																									
2 在籍している大学院博士課程への進学時期(西暦で記入してください)		20		年		月																								
3 生年月(西暦で記入してください)				年		月																								
4 国籍 (該当する番号を選択し、外国の場合は国名も記入してください)		1 日本 2 外国 → [(国名)]																												
5 性別(該当する番号を一つ選択してください)		1 男性 2 女性																												
6 あなたの専門分野 (最もあてはまる番号を一つ選択してください)		<table><tr><td>1 人文科学</td><td>5 理学(理論系)</td><td>11 医学(基礎系・社会系)</td><td>17 家政</td></tr><tr><td>2 法学・政治</td><td>6 理学(実験系)</td><td>12 医学(臨床系)</td><td>18 教育</td></tr><tr><td>3 商学・経済</td><td>7 工学</td><td>13 歯学(基礎系・社会系)</td><td>19 芸術</td></tr><tr><td>4 その他(2と3以外)の社会科学(社会学を含む)</td><td>8 農学(9および10を除く)</td><td>14 歯学(臨床系)</td><td>20 その他</td></tr><tr><td></td><td>9 農業工学</td><td>15 薬学</td><td></td></tr><tr><td></td><td>10 農業経済</td><td>16 その他(11～15以外)の保健</td><td></td></tr></table>					1 人文科学	5 理学(理論系)	11 医学(基礎系・社会系)	17 家政	2 法学・政治	6 理学(実験系)	12 医学(臨床系)	18 教育	3 商学・経済	7 工学	13 歯学(基礎系・社会系)	19 芸術	4 その他(2と3以外)の社会科学(社会学を含む)	8 農学(9および10を除く)	14 歯学(臨床系)	20 その他		9 農業工学	15 薬学			10 農業経済	16 その他(11～15以外)の保健	
1 人文科学	5 理学(理論系)	11 医学(基礎系・社会系)	17 家政																											
2 法学・政治	6 理学(実験系)	12 医学(臨床系)	18 教育																											
3 商学・経済	7 工学	13 歯学(基礎系・社会系)	19 芸術																											
4 その他(2と3以外)の社会科学(社会学を含む)	8 農学(9および10を除く)	14 歯学(臨床系)	20 その他																											
	9 農業工学	15 薬学																												
	10 農業経済	16 その他(11～15以外)の保健																												
7 在籍大学等との雇用関係 (令和5年度において在籍大学等に雇用されている場合は、該当する番号を一つ選択し、その雇用関係における収入額を記入してください)		<table><tr><td>1 無し</td><td><u>有り</u></td></tr><tr><td></td><td>↓</td></tr><tr><td>2 リサーチアシスタント</td><td>3 ティーチングアシスタント</td></tr><tr><td>4 テクニカルアシスタント</td><td>5 その他 []</td></tr></table> 有りの場合、その雇用関係における令和5年度の収入額(見込み): 万円					1 無し	<u>有り</u>		↓	2 リサーチアシスタント	3 ティーチングアシスタント	4 テクニカルアシスタント	5 その他 []																
1 無し	<u>有り</u>																													
	↓																													
2 リサーチアシスタント	3 ティーチングアシスタント																													
4 テクニカルアシスタント	5 その他 []																													
8 社会人経験の有無 (「2～4」については複数回答可)		<table><tr><td>1 博士課程進学前に、1年以上の社会人経験がない</td><td><u>博士課程進学前に、1年以上の社会人経験がある</u></td></tr><tr><td></td><td>↓</td></tr><tr><td></td><td>2 学部修了後、1年以上の社会人経験がある</td></tr><tr><td></td><td>3 修士課程修了後、1年以上の社会人経験がある</td></tr><tr><td></td><td>4 上記以外の社会人経験がある</td></tr></table>					1 博士課程進学前に、1年以上の社会人経験がない	<u>博士課程進学前に、1年以上の社会人経験がある</u>		↓		2 学部修了後、1年以上の社会人経験がある		3 修士課程修了後、1年以上の社会人経験がある		4 上記以外の社会人経験がある														
1 博士課程進学前に、1年以上の社会人経験がない	<u>博士課程進学前に、1年以上の社会人経験がある</u>																													
	↓																													
	2 学部修了後、1年以上の社会人経験がある																													
	3 修士課程修了後、1年以上の社会人経験がある																													
	4 上記以外の社会人経験がある																													
9 職業の状況 (該当する番号を一つ選択してください)		1 正社員として働いている 2 現在は休職している 3 アルバイト等のパートタイムで働いている 4 派遣社員又は契約社員として働いている 5 職業には従事していない																												
10 貸与・給付を受けている奨学金・研究奨励金又は在籍大学等による授業料免除の状況 (該当する番号を選択し、それらによる令和5年度の貸与・給付の額を記入してください) (「2～7」については複数回答可)		<table><tr><td>1 受けていない</td><td><u>受けている</u></td></tr><tr><td></td><td>↓</td></tr><tr><td>2 日本学生支援機構</td><td>3 日本学術振興会</td><td>4 在籍大学等(奨学金、フェローシップ等)</td><td></td></tr><tr><td>5 在籍大学等(授業料免除)</td><td>6 在籍大学等(上記以外の公的機関)</td><td>7 民間(企業・非営利団体)</td><td></td></tr></table> 受けていると回答した場合、それらによる令和5年度の貸与の額: 万円 それらによる令和5年度の免除された授業料、給付の額: 万円					1 受けていない	<u>受けている</u>		↓	2 日本学生支援機構	3 日本学術振興会	4 在籍大学等(奨学金、フェローシップ等)		5 在籍大学等(授業料免除)	6 在籍大学等(上記以外の公的機関)	7 民間(企業・非営利団体)													
1 受けていない	<u>受けている</u>																													
	↓																													
2 日本学生支援機構	3 日本学術振興会	4 在籍大学等(奨学金、フェローシップ等)																												
5 在籍大学等(授業料免除)	6 在籍大学等(上記以外の公的機関)	7 民間(企業・非営利団体)																												

次ページへ続きます。

11 令和5年度(令和5年4月1日～令和6年3月31日)の区分別の週数及び休日数

(予定を含めた平成30年度の全52週を下記の(a), (b)の2つの区分に分類し、それぞれの週数及び大学院博士課程の在籍者としての活動を行わない日数を記入してください。)

・大学院博士課程の在籍者としての活動を行わない日が二週間に3日間ある場合は一週間あたり1.5日として、小数まで記入してください。

期間の区分	左記の期間の週数		左記の期間の平均的な一週間で 大学院博士課程の在籍者として の活動を行わない日数	
(a) 在籍大学等の授業期間		週	合計52週	日
(b) 在籍大学等の授業期間以外		週		日

12 令和5年度の各期間における研究活動及び労働を行う平均的な1日の時間数

(質問11の各区分で、研究活動及び労働を行う平均的な1日の時間数を記入してください。)

・活動時間が分単位になる場合は、30分を0.5時間として小数まで記入してください。

・研究、その他の大学院博士課程の在籍者としての活動、学外で行っている労働の総和が同じ行の合計時間になるよう記入してください。

期間の区分	左記の期間における1日あたりの平均的な時間数				研究活動、研究活動以外 の大学院博士課程の在籍者としての活動、学 外で行っている労働の 合計時間			
	研究活動		研究活動以外 の大学院博士課程の在籍者として の活動	左記に含まれない、学外で行っ ている労働				
	あなたの論文作 成を目的とした 研究活動	あなたの論文作 成以外を目的と した研究活動						
(a) 在籍大学等の授業期間		時間		時間		時間		時間
(b) 在籍大学等の授業期間以外		時間		時間		時間		時間

13 令和5年度までの論文等の研究成果(見込みを含む)

(質問2の進学年月にかかわらず、令和5年度までの研究成果を記入してください。)

・プロシーディング:学会が発表する学術雑誌ではなく、あくまでも会議で発表される予定原稿を指す。

査読付きの論文数(日本語):		件	査読付きの論文数(外国語):		件
査読なしの論文数(日本語):		件	査読なしの論文数(外国語):		件
プロシーディング数(日本語):		件	プロシーディング数(外国語):		件
うち査読付きのもの:		件	うち査読付きのもの:		件
学術図書出版数(日本語):		件	学術図書出版数(外国語):		件

本調査にご回答いただきまして、誠にありがとうございました。

「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査」 調査票記入の手引き [大学院博士課程の在籍者用]



1. 調査の目的

本調査は、科学技術の振興に関する施策の企画・立案のための基礎資料として、大学等における研究者の活動の実態を把握し、研究や教育等にかかる時間の利用実態を調査するとともに、大学等における研究者数を国際的な基準であるフルタイム基準に換算するために必要な統計的データを得ることを目的とします。

2. 本調査における「研究」の語の定義

本調査においては、「研究」の語を研究開発統計上の用語として使用しており、その定義は、総務省統計局「科学技術研究調査」における「研究」の語の定義と同一です。

総務省統計局の「科学技術研究調査」における「研究」の定義：

「研究」とは事物、機能、現象などについて新しい知識を得るために、又は、既存の知識の新しい活用の道を開くために行われる創造的な努力及び探求をいう。

上記は、必ずしも研究の一般的な定義ではないことにご注意ください。

また、本調査の「研究」は、自然科学の研究だけでなく人文・社会科学の研究も含まれます。

3. 本調査の対象

この調査票は、大学院博士課程の在籍者を対象としています。大学院博士課程が前期課程と後期課程に分かれている場合は、後期課程在籍者のみを対象とします。また 5 年制の大学院博士課程の場合は、3 年次以降の在籍者のみを対象とします。

4. 個別の質問についての記入の手引き

質問 1 在籍大学等の名称

- 現在（令和 5 年 11 月 1 日）在籍している学校等の名称、研究科等の名称、専攻等の名称を必ず記入してください。

質問 2 在籍している大学院博士課程への進学時期

- 西暦で記入してください。

質問 4 国籍

- 外国の場合は、国名を記入してください。

質問 6 あなたの専門分野

- あなたの専門分野を選択肢 1～20 から選択してください。

- 専門分野の分類については専用サイトのリンクより「専門分野一覧表」を参照してください。なお、「専門分野一覧表」は、「学校基本調査」における「学科系統分類表」に準拠していますが、あなたの所属する研究科よりも、あなたの専攻を優先して回答してください。
- ・ 例えば、あなたが「経営情報学研究科」に所属しており、専攻が「経営学」である場合、「経営情報学」が分類されている『7 工学』や『20 その他』ではなく、「経営学」が分類されている『3 商学・経済』を選択してください。
- 専門分野が2つ以上ある場合には、主なもの1つを選択してください。

質問 7 在籍大学等との雇用関係

- 質問 1 で回答した大学等に雇用されている場合は、その雇用について、選択肢 2～5 の該当する番号を選択してください。雇用関係が無い場合は 1 を選択してください。雇用上の名称ではなく、実際の活動の内容に基づいて回答してください。
- ・ 「リサーチアシスタント」とは、大学等における研究プロジェクト等に研究補助者として参画し、これに対する手当の支給を受ける大学院学生等を指します。
 - ・ 「ティーチングアシスタント」とは、大学等において学部学生等に対するチュータリング（助言）や実験・実習・演習等の教育補助業務を担当し、これに対する手当の支給を受ける大学院学生等を指します。
 - ・ 「テクニカルアシスタント」とは、専門的業務（例えば情報システムの管理・運営）の担当者として大学等に雇用される大学院学生等を指します。ただし、業務内容が研究の一部である場合は「リサーチアシスタント」として回答してください。
- 雇用関係が有る場合、その雇用関係における令和 5 年度の収入額（見込みを含む）を記載してください。

質問 8 社会人経験の有無

- 博士課程進学前に、1 年以上の社会人経験がある場合、選択肢 2～4 の該当する番号を選択してください。複数選択が可能です。社会人経験がない場合は選択肢 1 を選択してください。
- 社会人経験とは、給料賃金、報酬、その他の経常的な収入を得る仕事に従事していた状態を指し、主婦・主夫を含みます。

質問 9 職業の状況

- あなたの現在の職業の状況について、選択肢 1～5 から選択してください。

質問 10 貸与・給付を受けている奨学金・研究奨励金又は在籍大学等による授業料免除の状況

- 奨学金・研究奨励金の貸与・給付又は在籍大学等による授業料免除を受けている場合、その奨学金・研究奨励金又は授業料免除の状況について、選択肢 2～7 の該当する番号を選択してください。そうでない場合は 1 を選択してください。
- 受けていると回答した場合、それらによる令和 5 年度の貸与の額又免除された授業料、給付の額を記載してください。

質問 11 令和 5 年度における区分別の週数および休日数

- 平成 30 年度の実績および今後の予定をもとに期間を区分して週数を記入してください。
- 1 年間の 52 週を 2 つのパターンに分けて、それぞれの週の数を記入してください。その際には、以下の基準を用いてください。
 - 週の途中でパターンが変わる週については、日数の多い方に分類してください。
 - 「授業」とは講義、演習、教育目的で行う実験、実習、実技等であり、基本的には学生に単位が与えられるものを指します。ただし、本調査では、大学院博士（後期）課程に在籍する大学院生が博士論文作成のために受ける研究指導は「研究活動」として扱うので「授業」には含めません。
 - 週に 1 日でも授業のある週については（a）に分類してください。
 - 在籍大学等の授業期間以外に授業や集中講義を受ける場合は、その週を、（a）「在籍大学等の授業期間」と（b）「在籍大学等の授業期間以外」のうち、活動状況がより近い方に含めてください。「活動状況がより近い」とは、授業だけでなく研究活動や会議・管理運営等を含む全ての活動時間の内訳がより近いことを意味します。
- 大学院博士課程在籍者としての活動を行わない日は、土日や祝日を含めて 1 週間あたりの総日数を記入してください。
- 大学院博士課程在籍者としての活動を行わない日が二週間に 3 日間ある場合は一週間あたり 1.5 日として、小数点第 2 位まで記入してください。

質問 12 令和 5 年度の各期間における研究活動及び労働を行う平均的な 1 日の時間数

- 質問 11 で 0 週となった期間は空欄にしてください。
- 活動時間が分単位になる場合は、30 分を 0.5 時間として小数点第 2 位まで記入してください。
- それぞれの活動時間の総和が同じ行の合計時間になるよう記入してください。
- 「大学院博士課程の在籍者としての活動」とは、大学院博士（後期）課程に在籍することによって必要性が生じる各種の活動を指し、下記(1)～(3)のような活動を含みます。
 - (1) あなたの論文作成を目的とした研究活動

- ・ あなたの成果として公表するための研究
- ・ 博士論文作成のために受ける指導
- ・ 直接的にあなたの研究のために行う読書

(2) あなたの論文作成以外を目的とした研究活動

- ・ あなたの論文の作成と直接関係しない研究会への出席
- ・ あなたの論文と直接関係のない専門分野に関する本の読書
- ・ 指導教授や所属する研究室等の研究活動への参加（自分の研究や博士論文作成と直接的に関係のないもの）
- ・ リサーチアシスタントとしての活動
- ・ テクニカルアシスタントとしての活動（研究に関する活動）

(3) 研究活動以外の大学院博士課程の在籍者としての活動

- ・ 大学院の授業（講義、演習、教育目的の実験、実習、実技等）の受講・参加、授業で課せられた課題の実施、授業に関連した教科書等の勉強
- ・ 研究成果の製品化など産学連携に関する活動
- ・ ティーチングアシスタントとしての活動
- ・ 学部学生・修士課程在籍者への専門分野に関する指導
- ・ 附属病院等における診療・治療に関する活動
- ・ テクニカルアシスタントとしての活動（研究以外の活動）

- 学外で行っている労働とは、質問 7 に含まれない、質問 9 で回答した職業に従事している活動を指します。

質問 13 令和 5 年度までの論文等の研究成果（見込みを含む）

- 令和 5 年度までの査読付きの論文数、査読なしの論文数、プロシーディング数及び学術図書出版数を、日本語・外国語それぞれ記載してください。
- 質問 2 の進学年月にかかわらず、令和 5 年度までの研究成果を記入してください。
- 論文数については第一著者の件数も記載してください。但し、著者名がアルファベット順の場合は責任著者である場合にのみ記入してください。
- 論文の掲載が決定した時点の回数を数えてください。
- プロシーディングとは、学会が発行する学術雑誌ではなく、年次大会等で発表される予定原稿を指します。